

川の再生推進工事 in 黒目川 令和7年度 第3回意見交換会

（堤防天端「遊歩道」の再整備）

令和8年8月20日（水）

埼玉県朝霞県土整備事務所

次 第

開会

- 1 挨拶
- 2 第1、第2回意見交換会等の結果についてのご報告
- 3 意見交換
- 4 その他

閉会

来場者の皆様へのお願い

- 会場内での飲食はご遠慮ください。
- 会場内は禁煙となっております。
- 携帯電話は、電源をお切り頂くか、マナーモードに設定のうえ、会場内での通話は御遠慮下さい。
- 本日の説明会の内容を記録として残すため、録音や写真撮影をさせていただきます。ご了承ください。
- 個人情報保護の観点から、来場者の皆様による撮影はご遠慮ください。
- スライドによる説明の際は、照明を一時的に暗くいたします。
お席をお立ちの際には、足元にご注意ください。
- 説明会の円滑な進行に、ご協力をお願いいたします。

意見交換会のルール

意見交換会において、以下のルールを定めます。

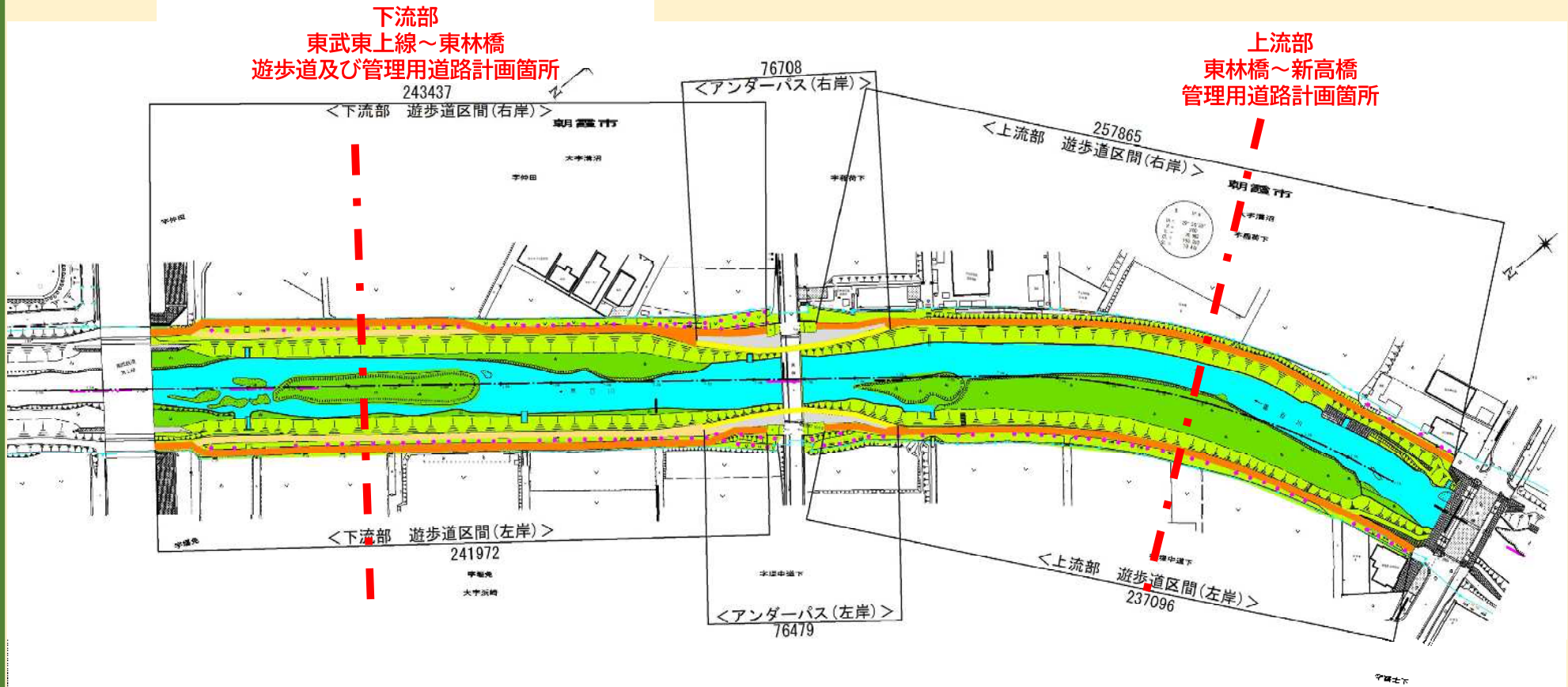
- **発言の際は手を挙げて、指名された後に発言をします。**

※初めて発言するときは所属と名前を、2回目以降も

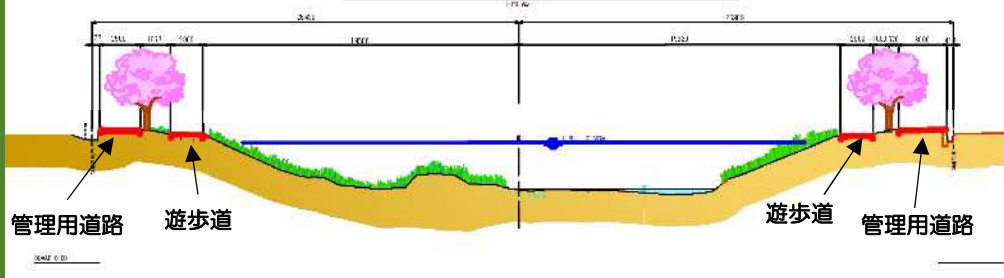
「〇〇です」と最初に名前を教えてください。

- **挙手が複数の場合、発言の少ない方を優先します。**
- **将来に向けて、前向きな姿勢で話し合います。**
- **特定の個人や団体の批判はしません。**
- **他者の意見を尊重し、フェアプレーの精神で行います。**

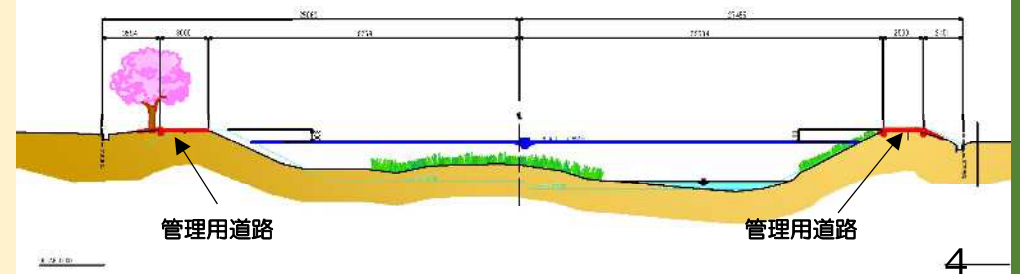
1. 第1回、第2回意見交換会の結果について



下流部 標準断面



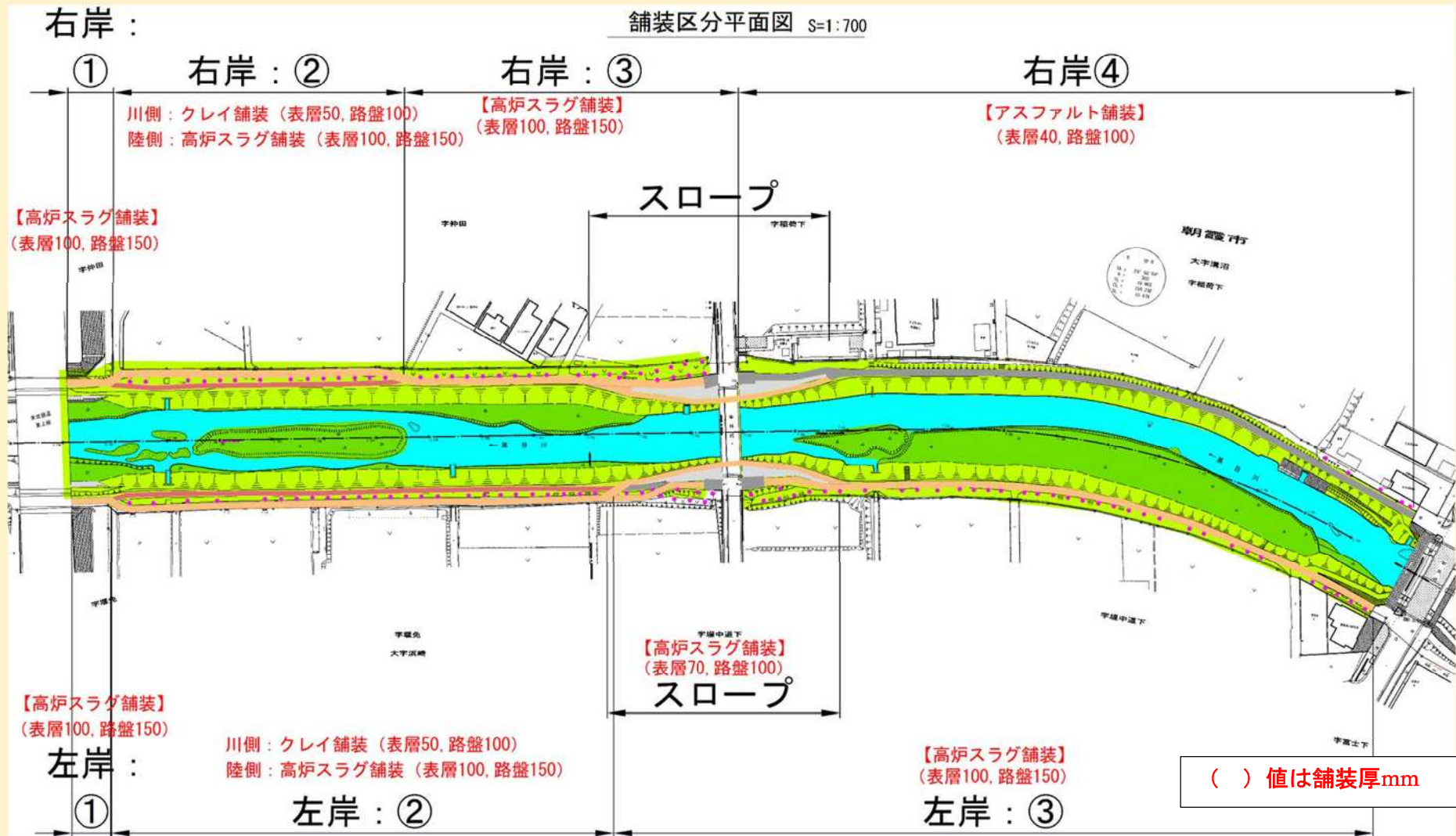
上流部 標準断面



1. 第1回、第2回意見交換会の結果について

遊歩道・管理用道路の舗装について整理しました。

まず対象区間の特徴から左岸3区間、右岸4区間の全7区間について区分けしました。



1. 第1回、第2回意見交換会の結果について

【左岸側】

区 間	特 徴	舗装採用案
左岸①	東武東上線のボックスを抜けたところで特に景観等に配慮する必要性は低く、人が留まるような区間でもない。	舗装案：高炉スラグ舗装 (桜堤の連続性と耐久性で決定)
左岸② 【桜 堤】	川側 川側の遊歩道は人が留まってゆっくりに過ごせる空間とする。	舗装案：土系(クレイ)舗装 (現状に近い環境を保持でき、土としての景観と歩行性の高さ、耐久性から採用) 【歩道用】
	陸側 陸側の管理用道路の機能を有する道路は、自転車や管理用車両を通すことを前提とする。	舗装案：高炉スラグ舗装 (耐久性、透水性、保水性等の環境面に優れることから採用)
左岸③ 【桜 堤】	管理用道路と遊歩道を兼ねた道路としての機能が必要となる。 管理用道路としての機能が必要となるため、車両が通過できる耐久性のある舗装が必要となる。	舗装案：高炉スラグ舗装 (耐久性、透水性、保水性等の環境面に優れることから採用)

【右岸側】

区 間	特 徴	舗装採用案
右岸①	東武東上線のボックスを抜けたところで特に景観等に配慮する必要性は低く、人が留まるような区間でもない。	舗装案：高炉スラグ舗装 (桜堤の連続性と耐久性で決定)
右岸② 【桜 堤】	川側 川側の遊歩道は人が留まってゆっくりに過ごせる空間とする。	舗装案：土系(クレイ)舗装 (現状に近い環境を保持でき、土としての景観と歩行性の高さ、耐久性から採用) 【歩道用】
	陸側 陸側の管理用道路の機能を有する道路は、自転車や管理用車両を通すことを前提とする。	舗装案：高炉スラグ舗装 (耐久性、透水性、保水性等の環境面に優れることから採用)
右岸③ 【桜 堤】	管理用道路と遊歩道を兼ねた道路としての機能が必要となる。 管理用道路としての機能が必要となるため、車両が通過できる耐久性のある舗装が必要となる。	舗装案：高炉スラグ舗装 (耐久性、透水性、保水性等の環境面に優れることから採用)
右岸④	主に管理用道路の機能が必要な道路である。 ただし、堤防上を散歩、ジョギング、サイクリング等の利用者が多い。	舗 装 案：アスファルト舗装 (歩行のしやすさ、耐久性、経済性から採用)

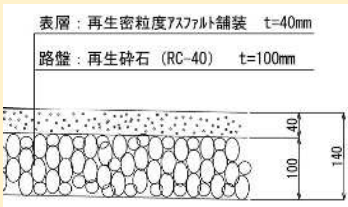
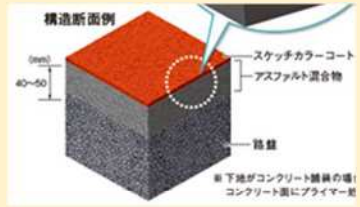
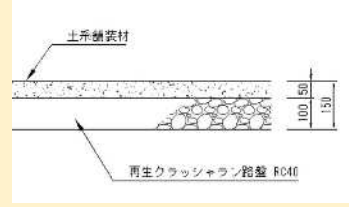
【アンダーパス】

区 間	特 徴	舗装採用案
左岸 アンダーパス	管理用車両の通行はないが、現況の土羽の流出状況から耐久性が必要。	舗装案：高炉スラグ舗装 (透水性、保水性等の環境面に優れることから採用) 【歩道用】
右岸 アンダーパス	管理用車両の通行はないが、現況の土羽の流出状況から耐久性が必要。	舗装案：高炉スラグ舗装 (透水性、保水性等の環境面に優れることから採用) 【歩道用】

1. 第1回、第2回意見交換会の結果について

以下のとおり舗装に関する推奨案を更新しました。

当該地においては、現地の特色に合わせて3種類の舗装を採用することと考えています。

	①アスファルト舗装	②透水性カラーアスファルト舗装	③クレイ（土系）舗装	④高炉スラグ舗装				
イメージ								
特徴	一般的なアスファルト舗装。 他舗装案に比べ安価。	アスファルト舗装表面をカラーリングしたもの。 カラーバリエーションが豊富で景観性に優れる。	土本来の柔らかさを有しながら、泥濘化や埃の発生等を改善し、天候に関係なく歩きやすい。 管理用車両2tまでは対応可能。	透水性と保水性を有しており、打ち水効果により涼しく感じる。 スラグを素材としており、再利用の観点からも環境に優しい。				
桜への影響	一般的なアスファルト舗装の場合は透水性が悪いため桜の育成への悪影響が懸念される。	透水性を有しており桜の育成には問題なし。	透水性や保水性を有しており、樹木の育成には問題なし。	透水性・保水性に最も優れ、雨水を地中に浸透・還元させることにより樹木の成長を促進する。				
施工性	構造がシンプルなので工事期間は短い。	カラー材を塗布するため、アスファルト舗装よりは手間がかかる。	施工は容易で工事期間は短い。	敷き均し後の養生期間が1週間程度必要。				
維持管理	耐用年数は5～15年程度	耐用年数は5～15年程度 塗装自体は5年程度で剥がれやすい	耐用年数は5年未満程度	耐用年数は15年以上				
舗装構成（厚み）	 表層：再生密粒度アスファルト舗装 t=40mm 路盤：再生砕石（RC-40） t=100mm	 構造断面例 スケッチカラーコート アスファルト混合物 路盤 ※下地がコンクリート舗装の場合、コンクリート面にプライマーを	 土系舗装材 再生クラッジャン路盤 F04E	<table border="1"><tr><td>カラーサンド</td><td>7cm</td></tr><tr><td>路盤(C30-0)</td><td>10cm</td></tr></table> 管理用車両4t乗用車の場合は、 表層：10cm 路盤：15cm	カラーサンド	7cm	路盤(C30-0)	10cm
カラーサンド	7cm							
路盤(C30-0)	10cm							
採用実績	黒目川にて採用実績あり	新横浜鳥山川の桜並木にて採用実績あり	黒目川（朝霞市田島地区）にて採用実績あり	元荒川（埼玉県）、文蔵川（埼玉県）等、桜並木の河川遊歩道にて採用実績あり				
アンケート及び意見交換会等の結果	意見交換会・調整小会議での推奨案（機能、耐久性等） 右岸④区間で採用 （耐久性が高く安価な構造）	桜への影響と景観に配慮した①案の対抗案であるが経済性に劣る。 景観地区になっているため彩度の高い色は不向き。	アンケート結果 1 位 右岸②左岸②区間の川側遊歩道で採用（管理用道路に対しては耐久性に懸念）	アンケート結果 2 位 管理用道路の桜堤区間で採用 アンダーパスで採用（表層7cm）				

7

1. 第1回、第2回意見交換会の結果について

舗装のイメージ（左岸②区間）

陸側は管理用道路としての機能、川側は遊歩道として人が留まれる空間を提供する区間として利用する。
川側は現況に近く柔らかい土系（クレイ）舗装を採用し、陸側は管理用車両が通行でき、耐久性、環境面に優れる高炉スラグ舗装を採用したいと考えます。



1. 第1回、第2回意見交換会の結果について

舗装のイメージ（左岸③区間）

管理用道路の機能が必要な区間であり、さらに桜堤となっているため遊歩道としての機能、耐久性、保水性、環境に配慮して「高炉スラグ舗装」を採用したいと考えています。



1. 第1回、第2回意見交換会の結果について

舗装のイメージ（右岸④区間）

右岸側の上流区間は、植樹がされていない区間となり一般的な管理用道路との差別化が困難であるため、最も安価な一般的なアスファルト舗装を採用したいと考えます。



アスファルト舗装

1. 第1回、第2回意見交換会の結果について

【スロープについて】

現況のスロープは、土羽による簡易な坂路構造を採用していたが、出水等で土砂の流出傾向がみられることから、本事業で強固な耐久性のある構造に改修する。



1. 第1回、第2回意見交換会の結果について

【スロープについて】

管理車両の通行はないが、現在流水による部分的な崩壊等が見られることから、強固な構造が必要で、環境面と管理用道路との連続性に配慮して高炉スラグ舗装を採用したいと考えています。

配慮項目

- ・歩行性
- ・耐久性
- ・経済性
- ・環境配慮



高炉スラグ舗装(ライトグレー)

1. 第1回、第2回意見交換会の結果について

【スロープの接続】

スロープを上がってきた自転車が、背後の高炉スラグ舗装で整備された管理用道路を通行するように舗装を連続させて誘導する案です。



ご清聴ありがとうございました。

お問合せ先

埼玉県朝霞県土整備事務所 河川担当

〒351-0033 朝霞市浜崎678番地

電話 048-471-4670

